

平成25年度 第9回 桔梗が丘自治連合会 議事録	
日 時	平成26年3月15日(土) 19:30～21:30
場 所	桔梗が丘公民館 大会議室
出席者	出席 区長・自治会長 18名。(別紙記載、木原(北森代理)) 欠席 小坂、石川、中谷、乾、米山、堀内。 自治連合協議会・大垣。 事務局・山中、松村。
決議事項	上田副代表幹事が司会を務め会議が始まった。 辻森代表幹事の開会挨拶の要旨。 「いよいよ25年度最後の会合です。今年度限りで退任される自治会長、区長さん大変ご苦勞様でした。又次年度も引き続きご就任を頂く皆さん、引き続き自治連合会、並びに自治連合協議会の運営にご尽力、ご協力を頂きますようよろしくお願いをします」と述べた。 (1) 議事録署名人 引き続き辻森代表幹事が議長となり、審議に入った。 自治連合協議会規約第46条第2項の規定により、議事録署名人に河合進氏、吉谷昌亮氏を選任し承認された。 (2) 公用車管理運営規定(案)について 辻森代表幹事(協議会会長)から、公用車管理運営規定(案)について、別添え資料に基き、次のように提案があった。 「特別目的積立金の車両買換積立金が目標額100万円に達しましたので、規定に基づき、理事会の承認を得て軽トラックを購入しました。購入金額は865,000円で諸費用を含んでいます。この他任意保険料が必要です。購入に伴って公用車管理規定を策定いたしますので、その案を資料として配布をしてあります。内容は資料に記載の通りですが、管理責任者は自治連合協議会会長とし、日常の管理担当者を事務局長とします。公用車を利用できるのは、協議会事業に携わる者、公民館職員、自治会長・区長が認めた桔梗が丘住民とします。 使用するときは、利用許可申請書の提出が必要です。又自治会長・区長が認めた桔梗が丘住民が使用するときは別途定めた利用料金を負担する事にします。

	その他、利用者の責務、保管場所を定めてあります。 ここで利用料金の算出根拠について説明をします。 車両購入価格、任意保険、車検等の諸費用合わせて10年間で約240万円となります。この金額を元に自治連合会の負担額を半額の120万円、利用回数を1800回と想定し、利用料金は固定費1回につき700円、別途ガソリン代の負担は燃費から算出して1キロメートルにつき20円としたいと考えています。この方法で一年間やってみたいと思っています。来年度末、課題等が見つかれば見直しをしたいと考えています。 Q. 購入は何台ですか、保管場所の記載が2箇所ありますが。 A. 1台です。保管は基本的には、桔梗が丘公民館ですが、都合で南公民館を利用する場合があります。 Q. 各自治会に貸し出す制限はありますか。 A. 原則、自治会、区の行事に利用の場合で、利用申請は自治会長・区長からになりますが、自治会長・区長が承認すれば幅広く利用できるようにしたい。 ・任意保険は運転者の制限は無く、保証金額も無制限としてあります。 Q. 第3項の「利用者の制限」で、公民館職員が利用する場合の許可申請を自治会長・区長がするような表現になっている。それから公民館職員が利用する場合、前日までに会長の許可を得ることは難しいのではないか。 A. ご指摘の通りなので、「公民館職員」を「当協議会事業活動に携わる者」の次に入れます。利用申請は当面規定どおりに運用いたします。 Q. 購入、貸出し利用に関する地域回覧の予定はありますか。 A. 現在の所、予定をしていません。自治会長・区長さんの判断で利用申請をして下さい。 その他、特に質問は無く、議長は公用車管理運営規定の策定について採決をした結果、全員挙手し承認された。
(3) 平成26年度 定時総会開催日について	辻森代表幹事（協議会会長）から、「平成26年度桔梗が丘自治連合協議会の定時総会の開催日を、平成26年5月17日（土）午後1時30分から、桔梗が丘公民館講堂で開催することに決定したい」と述べた。 山中事務局長から、「今回の定時総会で評議委員が交代されますので、新旧両方の評議委員の方の出席が必要です。出席方について皆さ

報告事項 (1) 亀井名張市長 へ要望書提出について	んのご協力をお願いします。詳細は事務局から案内をいたします」と述べた。 大垣副会長から、「重ねてお願いしますが、当協議会の総会は委任状の提出が認められておりませんので、評議員の出席にご配慮くださるようお願いします」と述べた。 出席者からは特に異議は無く、議長は平成26年度定時総会開催について採決をした結果、全員挙手し承認された。 辻森代表幹事（協議会会長）から、「本日、ご了解をいただければ、亀井名張市長に要望書を提出します。 お手元に原案の資料がありますが、内容は桔梗が丘西地域から桔梗が丘一番町側間の道路建設（歩行者・自転車道路）に関するものです。 要望の理由は記載したように、子どもたちの安全な通学路の確保、高齢者が暮らしやすい生活道路の建設が不可欠といったことです。この要望は過去、平成10年、平成14年と2度に亘り出されておりますが、詳細な経緯は不明のままで、未だ実現をしておりません。 そこで、桔梗が丘西地域の方と相談の上、自治連合協議会として再度提出を決めました。 議長は出席者の意見を求めた。 ・桔梗が丘西地区としては、協力に進めていただきたいと思います。 ・車道の建設はかなり困難を伴うと考えるので、生活道路として機能する、歩行者・自転車利用者向けの建設を要望したい。 ・名張市都市計画（道路見直し）との関連は特に考えられないが、何らかの効果はあると思う。 ・表現をもっと深く掘り下げて、具体的に記載するのはどうか。 ・過去の経緯がはっきりしない中、要望書の提出をスタートする方を優先したい。 ・これからの取り組みとして、関連する学校、関係団体（PTA等）と連携していく事も大事と思う。提出に終わらず、その後の取組みが大事です。 ・名張市がこの現状をどのように捉えているのか確認をすること、これまで出された要望が何故に放置されてきたのか、代替案はあるのか等の問題点をきっちりと質していただきたい。 ・桔梗が丘全体の活性化のためにも、西地区と桔梗が丘地域が一体化、
--	--

	連携を深めるためにも、必要な生活道路と思います。 ・これまで1地区で取組んでいたものを、自治連合協議会として取組む姿勢を明確し、名張市側の対応を見極めることに重点を置き、進めていくことに意味がある。 以上の報告と出された意見を考慮して提出することが了承された。
(2) LED防犯灯設置基準(案)について	辻森代表幹事(協議会会長)から、「昨年来、各自治会・区それぞれに進めておられるLED防犯灯設置について、名張市危機管理室が作成している設置基準案をお手元に配布をしています。LED防犯灯設置並びに維持管理にあたっての参考にしていただければ良いと思っています。特に⑤番の設置による居住者への照明の影響について、製造会社の説明書に詳しく記載されていますが、この内容をご理解いただき、地域住民の方にも周知いただきたいと思います。 最近一部の住民の方からも注意喚起の要望がありましたので、既に設置をされている自治会・区は留意いただきたいと思います。
(3) 住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業について	辻森代表幹事(協議会会長)から、「この事業は国土交通省の事業の一環としてのものです。最近、全国的に課題になっている、郊外型住宅団地の空き家等の対策のひとつとして「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」が昨年、国土交通省住宅局から公表され、平成25年度から3ヵ年計画で実施されます。この事業の公募に名張市が応募するのに伴い桔梗が丘住宅団地を対象地区とされました。そのために設立された協議会に桔梗が丘地域から参加をすることとしました。参加者は私、辻森と上田副会長の2人、出来ればもう1人参加したいと考えています。その他のメンバーは市議2人、市内の宅建業者、市の担当者等で構成されます。詳細は今後明らかになってくると思います。 事業の概要等の詳細は資料を参照して下さい」と述べた。
(4) 消防団桔梗が丘班からのお願い	辻森代表幹事(協議会会長)から、「昨年来、皆さんにお世話をかけています消防団桔梗が丘班から、最近の活動報告として班会議の議事録の提出を受けました。主な内容は、班員はこれまで25人でしたが、継続活動の意思確認の結果10人が退団、新たに団員になられた方が6人で、最終現団員は21人体制となりました。したがって2班集体を維持出来る事になりました。更に2～3人の確保をしたいとの事です。改めて団員募集の回覧をしたいとの事です。

	次に団員の方の名簿と組織図があります。我々も新年度の体制が決定した段階で名簿の通知をしますので、ご了承下さい。 3番目に消防団機械器具点検・訓練と、桔梗が丘地域にある防火水槽の確認を兼ねた作業を実施したいとの事でした。その日時は当該の地域住民の方に周知いただきたい旨申し出がありました。ご了承下さい。当該地区には事前に回覧をしたいと思います。 こうした一連の作業は、日頃の消防団の活動をご理解、ご協力をいただきたいとの思いからのものです」と述べた。
(5) 高校統合問題に関して、亀井名張市長と面談について	辻森代表幹事（協議会会長）から、名張桔梗丘高校跡地問題（利活用）について亀井名張市長と面談した結果について報告があった。 「今月のききょう通信に記載をされていますが、2月18日に亀井名張市長と面談し、その内容をまとめ、お礼を兼ねて提出した資料を配布しています。 桔高の跡地利活用については、我々の意向が反映できるよう進めていかなければならないと思っています。そのためには行政側の三重県、名張市に対して我々の意見・要望を出していくことが不可欠です。特に名張市側とは綿密に連携していく必要があるとの考えのもと、亀井名張市長と面談をしました。 その際、桔梗が丘地域の意向は市側を通じて要望していく旨を申し出ました。内容は、跡地利活用の基本的な構想の検討にあたっては、①地域の実情の把握、②地域ビジョンや市場性との整合性、③跡地の利活用に関する基本的な考え方の検討をすること、そして、地域住民との合意形成のため、①構想段階前からの住民参加、②名張市との合意形成等に鋭意取組んで行きたいと考えています。今後も皆さんの意見を頂けますようよろしくお願いします」と述べた。
(6) 名張市小中学校の規模・配置の適正化実施計画について	辻森代表幹事（協議会会長）から、「名張市小中学校の規模・配置の適正化実施計画は平成22年度から始まり、前期実施計画は平成26年度で終了です。 後期の実施計画の策定方針の中に桔梗が丘地区の3小学校が含まれています。今後の進め方、今までの経緯について記載がありますので、確認をしておいてください。本日の時点ではここまでです」と述べた。 <出席者の意見> ・この実施計画は案ではなく、既に進んでいるのであれば、桔梗が丘

その他 (1) 平成26年度自治会・区役員の届出書の提出について (2) 災害時要援護者同意者リストに基づく防災ラジオ配布について 連絡事項 (1) 平成26年度第1回自治連合会開催について (2) 自治連合会懇親会開催について	地区の小学校は3校とも適正化実施計画の検討対象校となっていることに注目していきたい。 今後地域住民との話し合い、協議が進められていくのをしっかり見守る必要があると思う。 ・現段階では、行政側の提案を待つということで良いと思う。 追加報告事項として、辻森代表幹事から、「現在行なわれている下水道工事は当初3月まででしたが、5月に延長された旨連絡がありました。当該の自治会長・区長さんには連絡があります」と述べた。 以上で会議は終了した。 山中事務局長から、平成26年度役員を交代をされます自治会・区は、基礎的コミュニティ代表者届・評議員選任の届出書を提出期限内に出していただきたい旨を、又名張市環境対策室から依頼があった、地域環境推進員の選任届の方も事務局から一括して提出しますのでご協力下さいと依頼があった。 引き続き、名張市防犯協会から依頼の有った自主防災団体の実態調査表の写しの提出依頼があった。 山中事務局長から、平成25年度分の災害時要援護者同意者リストが危機管理室から届けられましたので、必要書類をまとめて本日配布をしております。 従来同様の方式で対象者の方に配布をしていただきたい旨、報告があった。 山中事務局長から、「平成26年度第1回自治連合会を4月19日に開催をします。第1回は新旧の自治会長・区長さんの出席となりますのでご了承下さい。開催案内は別途差し上げる予定です」と述べた。 辻森代表幹事から、「毎年、5月に開催している懇親会を26年度も開催します。新旧の自治会長・区長さん多くの出席をお願いします。 以前お話したように、今回は消防団のメンバーとの懇親も兼ねて開催したいと思っていますのでよろしくお願いします。開催要領等の詳細は改めて事務局から差し上げます」と述べた。
--	---

議 長 辻 森保哉 

議事録署名人 河合 進 

議事録署名人 吉谷昌亮 

次回開催予定 平成26年4月19日(土) 19時30分から
桔梗が丘公民館 大会議室